



# 大杉谷国有林からの手紙



## 41通目 ～大杉谷に住む生き物と風景について～

今回の大杉谷国有林からの手紙は「大杉谷」の大小様々な溪流にスポットライトを当てて、そこに住む生き物たちと風景についてご紹介します。

### (1) たたずむカエル

大杉谷国有林を巡視（山の見廻り）をしていると進行方向に溪流が広がり、行く手をはばんでいます。

なんとか渡れる場所はないものかと周りを見回していると、石の上にじっと座って動かないカエル（写真1）に出会いました。ヒキガエルでしょうか？凜々しい顔立ちをしています。

ヒキガエルの近くに渡れそうな岩を見つけて対岸へ渡り、川の中をのぞいてみると、岩にオタマジャクシが数えきれないほどくっついて泳いでいました。大杉谷の溪流はカエルにとって居心地が良いようですね。

大杉谷の手紙35通目のオオダイガハラサンショウウオや40通目に載せたキセキレイなど、大杉谷の溪流は多くの命の源になっています。



写真1 たたずむカエル

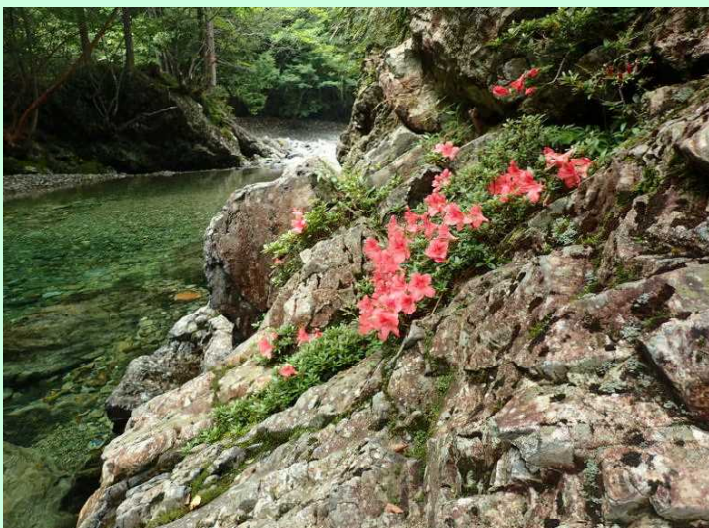


写真2 沢沿いの風景と野生のサツキツツジ

### (2) 沢沿いの風景とサツキ

ヒキガエルと別れた後、対岸の岩場に沿って移動していると、溪流沿いにとっても綺麗な風景（写真2）が広がっていました。川の色は緑がかった透き通った水で、溪流沿いの岩場に生育しているツツジの赤い花との対比がとても綺麗でした。

ツツジの種類について気になり調べて見ると、町中や公園などでよく植えられているサツキツツジの野生株だとわかりました。自生のサツキツツジは、もともと岩場の割れ目などに根を張り生育しているようです。

溪流には他の岩場にも多くのサツキツツジが生息していました。名前の由来の通り、旧暦の五月「皐月」の時期に綺麗な花を咲かせるので、他の岩場にも5月下旬～7月上旬頃に花が咲いているかもしれません。（※写真2は6月後半に撮影しています。）

### (3) トンボの休憩所

溪流沿いを更に進み、山の尾根の道に戻る途中で、沢に落ちたサワグルミの大枝が目に入りました。

ふと先端を見ると全ての枝の先に何かとまっています。気になり近くによって見ると多くのトンボが羽を休めていました。

今まで折れた枝には気にも止めていませんでしたが、無駄なく有効活用されています。

樹木の腐朽により折れた枝は、その後微生物の分解作用によって長い時間をかけて土に戻っていきます。その間も生態系の一部として存在し、沢の中は魚や昆虫の住処に、溪流沿いには、カエルやトンボの他、多くの生き物の休憩場所として機能しているようですね。生態系の奥深さを改めて感じる事ができた体験でした。



写真3 トンボの休憩所

#### コラム

【今年度も大杉谷で間伐と間伐材の搬出を行っています。】

大杉谷国有林内の栗谷小屋付近では、森林整備事業の間伐を行い、間伐した木材の搬出を行っています。

森から伐採した木材は、スイングヤーダ（木材を集材する機械）で林道上まで引上げ、その後チェーンソー（木を切る機械）で3m、4mに切り、グラップル（建設機械の林業用のアタッチメント）で掴んで写真4のように積み上げて行きます。

その後トラックで山の麓にある中間土場まで木材を移動させ、木材市場等の業者の方に販売を行い資源の循環利用に取り組んでいます。



写真4 伐倒後に積まれた木材

今回の箇所は、大杉谷登山道の近くで行っている為、注意看板等を掲示するなど安全には十分配慮していますが、登山道を登られる際は注意していただきますようお願いいたします。